

日本土壤微生物学会 2015 年度大会（つくば大会）のお知らせ

日時	2015 年 5 月 22 日（金）	9:00-	受付開始
		9:55-10:00	はじめに
		10:00-12:00	一般講演：口頭発表 I
		13:00-17:30	大会シンポジウム
		18:00-20:00	懇親会
23 日（土）	9:00-10:00	一般講演：ポスター発表 I（奇数番号）	
	10:00-11:00	一般講演：ポスター発表 II（偶数番号）	
	11:00-12:00	一般講演：口頭発表 II	
	13:00-14:00	総会（ポスター賞発表）	
	14:00-16:00	市民公開シンポジウム（参加費無料、事前登録不要）	

会場 つくば国際会議場（エポカルつくば） 中ホール 300
〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3 <http://www.epochal.or.jp/index.html>

学会シンポジウム 5 月 22 日（金）

国際土壤年－土と微生物を考える

招待講演

陸域最大の炭素・窒素プールを制御する土壤微生物と土壤団粒構造 和穎朗太（（独）農業環境技術研究所）

1. 土壤生成プロセスにおける微生物の役割 太田寛行・西澤智康（茨城大学）
2. 土壤微生物と土壤粒子 西山雅也（長崎大学）
3. 土壤動物は土壤微生物の機能をどのように引き出すか？ 金子信博（横浜国立大学）
4. 土壤病害と有機物施用 豊田剛己（東京農工大学）
5. 土壤の微生物情報を利用した土壤病害防除の可能性 藤永真史（長野県農業試験場）

市民公開シンポジウム 5 月 23 日（土）（主に一般市民の方対象で参加費は無料です。また事前登録も不要です）

国際土壤年－命を育む土壌を支える微生物

1. 土壌の不思議解明！生命を支える微生物の力 犬伏和之（千葉大学）
2. 土壌を創る微生物のカー火山噴火後の環境再生 太田寛行（茨城大学）
3. 土壌と地球温暖化－微生物は敵か味方か！？ 秋山博子（（独）農業環境技術研究所）

懇親会 エポカルレストラン エスポワール

宿泊 各自でご予約下さい。

託児サービス ご希望の方は 4 月 14 日（火）までに、大会事務局にご連絡ください。

大会参加申込

5 月 8 日（金）までに、件名に「2015 大会参加」、本文に懇親会参加の有無と、氏名、所属、住所、連絡先（Tel、Fax、電子メールアドレス等）を付した電子メールを大会事務局（dojo2015@niaes.affrc.go.jp）宛に送信し、参加申込を行って下さい。一般講演の講演者となる方は、下記の一般講演発表申込をもって参加申込とさせていただきます。参加費等は、5 月 8 日（金）までに下記の要領でお支払い下さい。参加費振込をもって参加登録完了となります。振込用紙は「土と微生物」4 月号に同封いたします。これ以降の参加申込・参加費等支払いは大会当日に受付で行って下さい。

大会参加費（要旨集を含む）

事前振込（5 月 8 日まで）：会員 6,000 円、非会員 7,000 円、学生 3,000 円（会員・非会員共）

当日支払：会員 8,000 円、非会員 10,000 円、学生 4,000 円（会員・非会員共）

要旨集のみ購入 2,000 円

懇親会費 事前振込（5 月 8 日まで）：4,000 円、当日支払：6,000 円、（学生は事前、当日を問わず 2,000 円）

振込方法 「土と微生物」4 月号に同封の振込用紙に必要事項を記入の上、5 月 8 日までに下記口座に振込下さい。

郵便振替 口座番号：00130-9-513775 加入者名：日本土壤微生物学会 2015 年大会（ドジョウビセ イブツカニセンジ ヲゴネタ）です。なお、他行等からの振込の場合は、店名：〇一九（ゼロイチキウ）、預金種目：当座、口座番号：0513775 とご指定下さい。

大会事務局

〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3

独立行政法人農業環境技術研究所・生物生態機能研究領域 藤井 毅

電話：029-838-8262 ファクス：029-838-8262 Eメール：dojo2015@niaes.affrc.go.jp

日本土壤微生物学会 2015 年度大会（つくば大会）プログラム

2015 年 5 月 22 日（金）

受付開始 9:00~

はじめに 9:55-10:00

一般講演：口頭発表 I 10:00-12:00

- 0-1 10:00-10:15 カメムシに農薬抵抗性を与える有機リン系農薬分解菌 *Burkholderia* 属の農耕地生態系における多様性と分布
○多胡香奈子¹・大久保卓¹・伊藤英臣²・菊池義智²・堀知行²・佐藤裕也²・永山敦士³・池田成志⁴・早津雅仁¹（¹農環研、²産総研、³沖縄県農研セ、⁴農研機構北農研セ）
- 0-2 10:15-10:30 Bacteria-induced plant growth promotion and ¹³⁷Cs accumulation in *Brassicarapa* L. var. *perviridis* grown in Fukushima cesium-contaminated soils
○ Salem Djedidi¹, Rolland Rallos², Katsuhiko Kojima¹, Naoko Ohkama-Ohtsu¹, Sonoko Dorothea Bellingrath-Kimura¹ and Tadashi Yokoyama¹（¹Tokyo University of Agriculture and Technology, ²Philippine Nuclear Research Institute）
- 0-3 10:30-10:45 大麦発酵エキスがジャガイモ栽培圃場に及ぼす影響
○三星暢公¹・金澤恵¹・紀岡雄三¹・野口勝憲¹・富濱毅²・福吉賢三³・池田成志⁴（¹片倉チッカリン(株)、²鹿児島県農開総セ、³長崎県農林技開セ、⁴農研機構北農研セ）
- 0-4 10:45-11:00 AM 菌を介したフィチン由来 P 吸収を促進するフィチン分解菌
○原新太郎・宇野亨・田島亮介・伊藤豊彰・齋藤雅典（東北大院農）
- 0-5 11:00-11:15 殺菌剤の施用がアーバスキュラー菌根菌の動態に及ぼす影響
○大友量・森本品・岡紀邦（農研機構北農研セ）
- 0-6 11:15-11:30 土壤糸状菌 *Mortierella elongata* に内生する細菌のゲノム特性の解析
大島翔子¹・藤村玲子²・水上沙紀¹・佐藤嘉則³・西澤智康¹・成澤才彦¹・○太田寛行¹（¹茨城大農、²東京大大気海洋研、³東京文化財研）
- 0-7 11:30-11:45 タマネギ乾腐病菌 (*Fusarium oxysporum* f. sp. *cepae*) に抗菌性を有する芽胞菌の戻し堆肥からの分離
○阿部紘乃¹・田尻航一郎¹・古川智博²・正司和之²・山口正洋²・松尾洋一²・龍田典子¹・上野大介¹・田代暢哉²・染谷孝¹（¹佐賀大農、²佐賀県上場宮農セ）
- 0-8 11:45-12:00 植物寄生線虫はウリ類ホモプシス根腐病の発生を助長する
○宍戸雅宏¹・大塚衣里子¹・宇佐見俊行¹・横山とも子²（¹千葉大院園芸、²千葉農林総研セ）

大会シンポジウム 13:00-17:30

招待講演

- S-0 13:00-13:50 陸域最大の炭素・窒素プールを制御する土壤微生物と土壤団粒構造
(独) 農業環境技術研究所 和穎朗太

シンポジウム

- S-1 13:50-14:30 土壤生成プロセスにおける微生物の役割 茨城大学 太田寛行・西澤智康
S-2 14:30-15:10 土壤微生物と土壤粒子 長崎大学 西山雅也
15:10-15:30 休憩
S-3 15:30-16:10 土壤動物は土壤微生物の機能をどのように引き出すか？ 横浜国立大学 金子信博
S-4 16:10-16:50 土壤病害と有機物施用 東京農工大学 豊田剛己
S-5 16:50-17:30 土壤の微生物情報を利用した土壤病害防除の可能性
長野県農業試験場 藤永真史

懇親会 18:00-20:00

2015年5月23日(土)

一般講演：ポスター発表Ⅰ(奇数番号) 9:00-10:00

一般講演：ポスター発表Ⅱ(偶数番号) 10:00-11:00

一般講演：口頭発表Ⅱ

- 0-9 11:00-11:15 土壌には未知の脱窒微生物が豊富に存在している
○磯部一夫¹・魏魏¹・西澤智康²・白鳥豊³・大塚重人¹・妹尾啓史¹(¹東京大、²茨城大、³新潟農総研)
- 0-10 11:15-11:30 太陽熱土壌消毒処理が土壌中のアンモニア酸化細菌群集に及ぼす影響の解析
山縣実奈¹・横江和典¹・篠原陽子²・前坂昌宏³・村瀬潤³・○浅川晋³(¹名古屋大農、²宮崎県総農試、³名古屋大院生命農)
- 0-11 11:30-11:45 ナタマメ根粒から分離した細菌株の分類と収穫量への影響
増田航¹・畠中雄佑²・○齋藤明広²(¹静岡理工大院理工、²静岡理工大)
- 0-12 11:45-12:00 大量の挿入配列を保有するダイズ根粒菌のゲノム解析：根粒菌の生成と消滅を示唆する共生アイランド爆発
飯田隆之・板倉学・按田瑞恵・菅原雅之・伊沢剛・大久保卓・佐藤修正・千葉(柿崎)芳里・○南澤 究(東北大院)

総会(ポスター賞発表) 13:00-14:00

市民公開シンポジウム 14:00-16:00(参加費無料、事前登録不要)

- C-1 14:00-14:40 土壌の不思議解明！生命を支える微生物の力 千葉大学 犬伏和之
- C-2 14:40-15:20 土壌を創る微生物のカー火山噴火後の環境再生 茨城大学 太田寛行
- C-3 15:20-16:00 土壌と地球温暖化ー微生物は敵か味方か！？
(独) 農業環境技術研究所 秋山博子

大会からのお知らせとお願い

一般講演(口頭発表)の演者の方：

- ・講演時間は12分、質疑3分をお願いします。
- ・ご自身のPCをご使用頂きます。PCを立ち上げた状態で、次演者席にてお待ちください。
- ・PCをお持ちでない場合、PowerPointプレゼン資料をUSBメモリーにセーブ、講演30分前に大会受付にお渡しください。

一般講演(ポスター発表)の演者の方：

- ・ポートレート120(タテ) x 90(ヨコ) cm以内のポスターをお持ちください。
- ・ポスターは、5月22日(金)9:00~10:00に掲示、5月23日(土)12:00~13:00に撤去してください。
- ・掲示用の画紙、テープなどは会場に用意します。
- ・奇数番号、偶数番号別に指定された発表時間にポスター前で説明してください。
- ・すべてのポスター発表が優秀ポスター賞の対象となります。
- ・優秀ポスター賞は、5月23日(土)13:00からの総会で発表すると共に、受賞者に賞状を授与します。

最新情報は、大会ホームページ http://jssm.sakura.ne.jp/taikai/2015/2015taikai_top.html でお知らせします。

一般講演(ポスター発表)プログラム

2015年5月23日(土) 9:00~10:00 奇数番号

10:00~11:00 偶数番号

ポスターは5月22日(金)9:00~10:00に掲示、5月23日(土)12:00~13:00に撤去してください。

- P-1 ネギ属根圏の細菌叢の網羅解析と優占菌群のキュウリつる割病抑制活性
○西岡友樹¹・鈴木陽子¹・田中千尋¹・小林一成²・小林裕子²・須賀晴久³・百町満朗¹・清水将文¹
(¹岐阜大院、²三重大地域イノベ/生命セ、³岐阜大生命セ)
- P-2 爪楊枝・プラントボックス法による微生物資材の白紋羽病菌に対する抑止効果の比較
○高橋真秀¹・金子洋平¹・中村仁²(¹千葉県農林総研、²農研機構果樹研)
- P-3 ベビーリーフ用のコマツナ・ルッコラにおける *Rhizoctonia* 属菌による立枯性病害の発生リスク評価
○佐藤恵利華¹・関口博之¹・村上弘治^{1,2}・中田昌人³(¹農研機構近中四農研セ、²農研機構本部、³正八つくば)
- P-4 剪定屑堆肥の施用による施設造成土壌の短期間での微生物性変化
○佐野修司¹・長岡一成²・須賀有子²・小坂吉則³・森岡こころ³・山崎基嘉¹・金剛穂波¹・内山知二¹
(¹大阪環農水研 ²農研機構中央農研セ ³大阪府泉州農と緑)
- P-5 土壌酵素活性を用いた畑地の窒素・リン利用性の評価
○藤田一輝¹・國頭 恭¹・諸人誌¹・矢口直輝²・齋藤龍司²・出澤文武²・吉田清志²・大塚重人³・長岡一成⁴
(¹信州大理、²長野県野菜花き試、³東京大院農学生命、⁴農研機構中央農研セ)
- P-6 炭素・窒素添加に対する土壌中ホスファターゼ活性の応答
○丸山るな¹・國頭恭¹・諸人誌¹・出澤文武²・齋藤龍司²・矢口直輝²・長岡一成³・大塚重人⁴(¹信州大理、²長野県野菜花き試、³農研機構中央農研セ、⁴東京大院農学生命)
- P-7 非病原性 *Rhizobium vitis* ARK-1 株によるブドウ根頭がんしゅ病菌の vir 領域の発現抑制
○川口章^{1,2}(¹岡山県農業研、現：²岡山県農林水産部)
- P-8 重金属汚染土壌の大麦根圏と非根圏における植物生長促進細菌の分布と特性
○墨泰孝^{1,2}・國頭恭²・石川祐一³・出澤文武⁴・齋藤龍司⁴・矢口直輝⁴・朴虎東²・長岡一成⁵・相川良雄^{6,7}(¹中部大応生、²信州大理、³秋田県大生資、⁴長野県野菜花卉試、⁵農研機構中央農研セ、⁶東北大院工、⁷(株)三菱マテリアル)
- P-9 土壌原生動物が活動するとき ~培養による土壌原生動物の検出実験の再吟味~
○服部黎子・服部勉 (アチック・ラボ)
- P-10 肥培管理の異なる黒ボク土での酵素活性と酵素遺伝子多様性との関係
○諸人誌¹・國頭恭¹・齋藤龍司²・矢口直輝²・大塚重人³・長岡一成⁴(¹信州大理、²長野県野菜花卉試、³東京大院農学生命、⁴農研機構中央農研セ)
- P-11 キャベツパーティシリウム萎凋病の発病反応曲線
○池田健太郎¹・白石俊昌²・酒井宏¹・古澤安紀子¹・吉田重信³・對馬誠也³(¹群馬県農技セ、²東京大植物病院、³農環研)
- P-12 エンバク野生種によるキャベツパーティシリウム萎凋病軽減要因の解析
○酒井宏¹・漆原寿彦¹・日戸正敏¹・白石俊昌²・池田健太郎¹(¹群馬県農技セ、²東京大植物病院)
- P-13 Characterization of microbial communities in new soil horizons forming on the recent Miyake-jima volcanic deposits
○郭永¹・平野明則¹・藤村玲子¹・佐藤嘉則²・西澤智康¹・上條隆志³・成澤才彦¹・太田寛行¹(¹茨城大農、²東京文化財、筑波大生命環境³)
- P-14 長野県のセルリーほ場における萎黄病発生程度と土壌糸状菌相の多様性との関連性
○山岸菜穂¹・石山佳幸¹・矢口直輝¹・小木曾秀紀²・松下裕子³・吉田重信³・對馬誠也³・藤永真史²(¹長野県野菜花卉試、²長野県農試、³農環研)
- P-15 植物共存微生物の多様性解析法に関する分子生態学的研究
○池永誠・境雅夫(鹿児島大農)
- P-16 転炉スラグによる土壌 pH 矯正が土壌細菌・糸状菌群集に及ぼす影響
○森本晶¹・岩間俊太²・谷川法聖²・岩館康哉³・小山田早希⁴(¹農研機構北農研セ、²青森県産技セ農林総研、³岩手県農水部農普及技術課、⁴岩手県農研セ)

- P-17 三宅島 2000 年噴火堆積物中の窒素固定細菌に関する研究
○平野明則¹・郭永¹・藤村玲子¹・佐藤嘉則²・西澤智康¹・上条隆志³・成澤才彦¹・太田寛行¹ (¹茨城大農、²東京文化財、³筑波大生命環境)
- P-18 微生物資材の施用が水田土壌からのメタン発生に及ぼす影響 (第 4 報) —異なる土壌タイプ・実験形態での比較—
○高橋真亜沙¹・熊崎陽子²・花澤俊祐¹・犬伏和之¹ (¹千葉大院園芸、²千葉大園芸)
- P-19 草地生態系における土壌微生物を介したセシウムの保持について
遠藤飛鳥¹・○立石貴浩²・颯田尚哉²・前田武己²・築城幹典² (¹岩手大院農、²岩手大農)
- P-20 微生物により生成されるミネラルの物質特性解析
○由井嵐士¹・久保田博子¹・鈴木溪²・餅原弘樹¹・細川拓也¹・田代陽介¹・小暮敏博³・二又裕之¹ (¹静岡大院工、²静岡大院自然科学教育部、³東京大院理)
- P-21 バイオエタノールの副成分が低濃度エタノール処理の消毒効果に及ぼす影響
○岡本昌広¹・折原紀子¹・吉田誠¹・上山紀代美¹・松本佳久²・廣川隆彦²・高橋亮²・高見和清²・戸川孝則³・小原裕三⁴ (¹神奈川県農技セ、²神奈川県産業技セ、³横浜市資源リサイクル事業協同組合、⁴農環研)
- P-22 落水期の水田土壌における亜酸化窒素フラックスおよび糸状菌の影響
○大里晴菜・犬伏和之 (千葉大院園芸)
- P-23 N₂O 発生スポットであるジャガイモ地上部残渣の糸状菌群集構造
○星野(高田)裕子¹・秋山博子¹・中島泰弘¹・山本昭範^{1,2} (¹農環研、²学芸大)
- P-24 森林生態系の堆積腐植層における微生物バイオマス Cs の量的評価
○遠藤飛鳥¹・門間眸¹・立石貴浩²・石川奈緒²・颯田尚哉²・前田武己²・築城幹典² (¹岩手大院農、²岩手大農)
- P-25 リン酸添加によるアーバスキュラー菌根菌内生菌糸の RNA-seq 解析
○杉村悠作・齋藤勝晴 (信州大農)
- P-26 日本のダイズ根粒菌とダイズの Rj2 共生不和合性
○菅原雅之¹・鈴木悠太¹・板倉学¹・千葉(柿崎)芳里¹・佐藤修正¹・加賀秋人²・石本政男²・南澤 究¹ (¹東北大院生命科学、²農生資研)
- P-27 長門市東後畑地区での自然栽培水稲作における養分供給源の評価
○横山和平¹・樋口歩実¹・杉本哲平¹・木村好博² (¹山口大学農学部、²長門市)
- P-28 次世代シーケンサーを用いた土壌細菌菌群集構造解析による有機水田土壌のプロファイリングの試み
竹村真奈美¹・鈴木一輝¹・野中昌法²・○原田直樹² (¹新潟大院自然科学研、²新潟大自然科学系)
- P-29 バイオエタノール発酵液成分を用いた生物的土壌消毒法の検討
○堀田光生・北本宏子 (農環研)
- P-30 茶園土壌における β プロテオバクテリアに属するアンモニア酸化細菌の多様性と分離菌株の特徴
○早津雅仁・下村有美・王勇・多胡香奈子 (農環研)
- P-31 刈敷を活用した不耕起・草生畑地の土壌微生物菌群集構造解析
○雫田麻衣・小松崎将一・成澤才彦・太田寛行・西澤智康 (茨城大農)
- P-32 インドネシア・バリ島の有機栽培および慣行栽培水田における有機物分解挙動の違いについて
○坂上伸生¹・塩津文隆¹・浅木直美¹・Dewa N Suprpta²・新田洋司¹・小松崎将一¹ (¹茨城大、²ウダヤナ大)
- P-33 農耕地からの N₂O ガス発生を削減し作物生産性を向上する脱窒菌株の探索—N₂O 削減微生物肥料の開発を目指して—
Gao Nan¹・Shen Weishou¹・白鳥豊²・Camargo Estefania³・Wei Wei¹・角田洋子¹・西澤智康⁴・高谷範子⁵・永峰賢⁵・磯部一夫¹・大塚重人¹・○妹尾啓史¹ (¹東京大院農学生命、²新潟県農総研、³Federal Univ. of Rio Grande do Sul、⁴茨城大農、⁵(株)ロム)
- P-34 地中海沿岸地域における長期有機連用がトウモロコシ根の糸状菌叢に与える影響
○鈴木一輝¹・戸井田千佳²・Oguz Can Turgay³・Ibrahim Ortas⁴・原田直樹⁵・野中昌法⁵ (¹新潟大院自然科学、²新潟大農、³アンカラ大農、⁴チュクロバ大農、⁵新潟大自然科学系)
- P-35 異なる資材をコーティングした水稲直播種子近傍土壌の次世代シーケンサーによる細菌相解析
○森伸介・関口博之・富岡啓介・藤本寛・岡部昭典 (農研機構近中四農研セ)
- P-36 有機リンゴ園の土壌微生物菌群集構造
○三浦季子・金子信博・南谷幸雄 (横浜国大環境情報)

- P-37 有機・慣行栽培土壌に添加した米ぬかからの窒素の無機化 — 地域や土壌管理による有機／慣行栽培の影響の違い—
○唐澤敏彦・長岡一成・須賀有子・橋本知義（農研機構中央農研セ）
- P-38 アンコール遺跡バイヨン寺院における石材劣化に及ぼす雨漏り滴下水とコウモリグアノの影響
○中村聡美¹・龍田典子¹・上野大介¹・片山葉子²・染谷孝¹（¹佐賀大農、²東京農工大農）
- P-39 LAMP によるトマト萎凋病菌 *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* レース 1 の識別
○鮎川侑¹・柏毅^{2,3}・赤井浩太郎⁴・山田麻貴¹・寺岡徹¹・有江力¹・小松健^{1,5}（¹農工大院農、²農工大院連農、³学振 DC、⁴農工大農、⁵農工大テニユアトラック機構）
- P-40 ケカビ目菌類から検出された *Burkholderia* 属細菌について
○高島勇介¹・伊藤英臣²・菊池義智²・広瀬大³・成澤才彦⁴（¹農工大連合農学、²産総研生物プロセス、³日本大薬、⁴茨城大農）
- P-41 Physiological Characterization of rhizobia isolated from soybean at different agro-conditions in Venezuela
○ Artigas R. Maria D.^{1,6}・ España Mingrelia²・ Aguirre Claudia³・ Ohkama-Ohtsu Naoko⁵・ Sekimoto Hitoshi⁴・ Yokoyama Tadashi⁵.（¹Instituto Nacional de Salud Agricola Integral、²Institute for Advanced Studies、³National Laboratory of Biofertilizers、⁴Utsunomiya University, Faculty of Agriculture、⁵Tokyo University of Agriculture and Technology, Institute of Agriculture、⁶Tokyo University of Agriculture and Technology, the Graduate School of Agriculture.）
- P-42 バイオ肥料原体微生物 *Bacillus pumilis* TUAT-1 株の水稻への接種がいもち病発症に及ぼす影響の評価
○外館千尋¹・寺岡徹²・山谷紘子³・大津直子²・横山正²（¹農工大農学府、²農工大院農学研究院、³農工大農）
- P-43 南西諸島の海浜に分布するハマアズキと耐塩性 *Sinorhizobium* 属根粒菌の共生成立を許容する NaCl 濃度について
○丸山雄大¹・友岡憲彦²・内藤 健²・大津直子³・横山正³（¹農工大農学府、²農生資研ジーンバンク、³農工大院農学研究院）
- P-44 安定同位体トレーサーを利用した脱窒菌の MPN 計数法の確立と応用
三保谷峻¹・ ○高橋大貴¹・ 勝山千恵²・ 諏訪裕一¹（¹中央大学理工、²広島大院総合科学）

注：登録漏れや修正がある場合には、事務局 (dojo2015@niaes.affrc.go.jp) までご連絡ください。なお、発表者の所属は事務局の判断で省略表記で統一させて頂いております。支障がある場合には、ご連絡ください。